



校歌の謎

おなじみの掛川小学校の校歌ですが、どうしたことか作詞作曲者名がありません。学校にも関係資料がなく、長い間作者不詳の校歌として扱われてきました。

これにはなにか訳があるに違いありません。校歌制定のいきさつを調べることから、この謎を探ってみることにしました。

平成 10 年ころ定光寺町在住の松本成行氏が地元の歴史を調べるために、いくつかの資料を探しているうちに先々代の定光寺住職中島全能和尚の日記風の覚え書き帳の中から、興味あるメモ書きを見つけました。そこには現在の校歌とまったく同じ歌詞が書かれており、大正 10 年 4 月 17 日掛川小学校長水野綱治 稿としたためられていたのです。これは掛川小学校校歌制定の解明に関する大発見ともいえるものです。しかし、そうならば校歌には「作詞：水野綱治」と記されていてもよさそうなのにそれが無いのはどうしてでしょう。実は作詞に関わった人物は水野校長一人ではありませんでした。

それでは水野校長以外にだれが関わったのか。まず一人は中島全能和尚です。和尚の覚え書き帳に書かれている歌詞には推敲の跡が何か所も見当たります。これは明らかに全能和尚が手を加えたことを物語っています。もう一人作詞を手伝った人がいます。当時の掛川尋常高等小学校の主席訓導（教諭）を務めていた冨田貴一氏（下半田川町）です。地域の人々の言い伝えや貴一氏の家族の話などからこのことがはっきりとしてきたのです。歌詞は三人の合作であったがため、あえて作詞者名を表記しなかったのではないかと考えられるのです。

一方で作曲者についてはどうなのでしょう。知っている方もあると思いますが掛川小学校校歌のメロディーは瀬戸市立深川小学校のそれとまったく同じです。

水野綱治氏は掛川小学校へ赴任する前は深川小学校で唱歌主任として教鞭をとっていました。深川小学校に聞いてみると、作

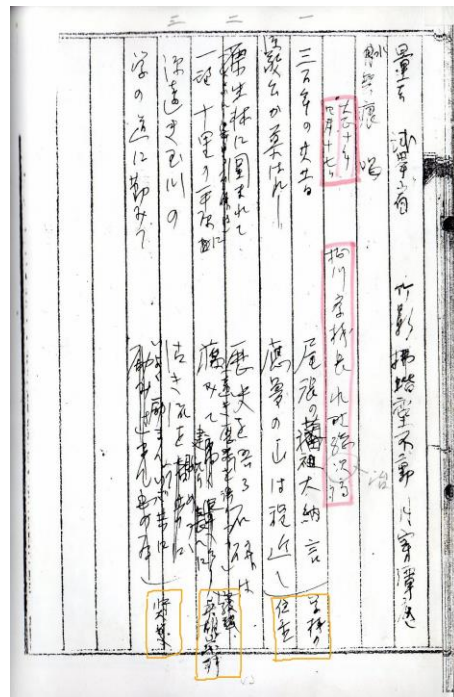
詞作曲者名は不明とのことでしたが、後になって卒業生の古老の話などから深川小の校歌も水野綱治氏が作詞したらしいことが分かってきました。しかしながら、作曲者名は依然として不明のままです。

いろいろ調べていくうちに、他地区から下半田川の地へ嫁いできたある古老から「自分が育った地域では校歌のメロディーと同じ節で何かはやり歌のようなものを唄っていた記憶がある」との証言を得ました。各地で唄われていた汎用的なメロディーが校歌にも使われた可能性があるのです。

作詞作曲者名が明示されないまま今日に至ったのはこのようないきさつがあったからではないでしょうか。

伝統ある掛川尋常小学校にしては校歌がないことを地域の博学者であった中島全能

和尚が憂えていたことは十分想像できます。このような状況下で赴任したばかりの水野校長に全能和尚が校歌制定を強く働きかけたことは想像に難くありません。



中島全能和尚の覚え書き